



Utsunomiya City Park Forum
「こんな公園があったらいいな」
市民に愛される
公園づくり

Utsunomiya Cityにおける公園の現状と課題を示し、都市計画としての公園の必要性や和泉多摩川緑地を都立公園として整備する意義、古墳などの文化遺産を保全する歴史公園について、広く市民並びに関係する住民等へ情報提供するとともに理解を深めてもらうことを目的に公園フォーラムを開催しました。

Utsunomiya City Park Forum 『こんな公園があったらいいな』市民に愛される公園づくり

○日時 平成29年3月4日(土) 午前10時00分から午後12時7分まで

○場所 防災センター401・402 会議室

○プログラム

参与挨拶

第一部

基調講演 松井 崇 (Utsunomiya City 都市建設部まちづくり推進課)

■概要・「Utsunomiya Cityの公園について ー公園の現状と未来についてー」

①Utsunomiya Cityの緑の現状と目標

計画的に都市計画公園の整備を推進するためには、Utsunomiya Cityの緑の現状や目標、公園の配置、整備費用を考慮していく必要があるが、公園整備には長い年月がかかることを説明した。

②和泉多摩川緑地都立公園誘致他市内の公園整備状況について

市内の公園空白地域を考慮しつつ、緑の確保に努めていくこと、また、Utsunomiya City和泉多摩川緑地都立公園誘致推進構想の位置づけ、公有地を中心に公園機能確保が可能である考えを示し、東京都との協議を継続していくことを示した。一方で、市でも公園確保の取組みを進めている事例を紹介した。

第二部

基調講演 入江 彰昭氏 (東京農業大学短期大学部環境緑地学科准教授)

■概要・『「こんな公園があったらいいな」市民に愛される公園づくり』

①みんなが行きたい公園

社会的結束、コミュニティ、冷却効果、不動産価値等公園の有益性を、新宿御苑、砧公園等を挙げ、イメージしやすく紹介。

②公園の発祥と歴史

公園はいつどのようにできたのか、世界と日本の公園の歴史と発祥を説明された。社会状況の変化や住民ニーズの変化に合わせ、利用が少なくなった公園のリメイクが必要な時代となっている考えを説明いただいた。

③どこの公園で楽しむか、Utsunomiya Cityにどんな公園があったらいいか。

全国で約10万個ある公園を行政だけで管理していくのは不可能であり、住民の協力が必要不可欠であること、公園力を高めるために量から質へ移行していく時代がきている考えを示し、公園内のトイレの状況調査結果、釜焼きピザ体験開催を通じて公園に親しんでいただいた実例等を紹介。どのような公園が市民に愛されるのか、参加者が自ら考えさせられる機会ができた。

第三部

■グループ単位による意見交換及び質疑応答 (ワークショップ形式)

公園について思うこと、この場所にこんな公園があったらいいな等、グループごとに意見や疑問を出し合い、発表していただいた。内容に対し、入江先生や小俣理事からコメントをいただいた。

■各グループの主な意見

- ・ベンチを増やしてほしい。憩いの居場所がほしい。
- ・大人の公園、子どもの公園のすみわけがあってもよい。
- ・ルールを作ってバーベキューが再開できるようにしてほしい。
- ・街灯をふやしてほしい。
- ・トイレをきれいに管理してほしい。市民生活向上に寄与。
- ・緑の管理として、繁茂したままか樹木の剪定についての調整が必要。
- ・利用者のニーズ変化に対応した既存公園のリメイク。
- ・生物多様性という考えを持っているのに対し三角広場を人工芝にするのはギャップがある。
- ・世田谷通り以南に公園が少ない。
- ・子どもが駆け回る公園が必要。
- ・ボール遊びの公園がない。
- ・人口密度が高い場所にこそ公園は必要。
- ・和泉多摩川緑地内に防災的な公園は必要。一人あたりの公園面積増加に貢献できる。
- ・高齢者が運動する公園がほしい。
- ・体験できる農園、園芸、稲刈り等できる公園があってもよい。

●先着48名中事前申込み45名 参加者36名 欠席者9名 傍聴者10名

今後につながることを期待し、
当日にアンケートを実施。

アンケート結果

回答総数：28件

問1：本日のフォーラムに参加した感想はいかがでしたか（一つを選択）。

1, 大変良かった	5	<p>主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> • 多くの意見を聞いた • 自分の思いを伝えられた • 公園についての歴史の話が興味深かった • 自分の住んでいるまちを見つめることができた
2, 良かった	16	<ul style="list-style-type: none"> • 公園の大切さ等が解りやすかった • 公園の起源を具体的に知ることができた • 公園に求められることが多様であることが分かった • 農大の入江先生のお話が聞いてよかった • 入江先生の公園についての講演はとても有意義でした • 和泉多摩川緑地になった背景が分かった
3, どちらとも言えない	5	<ul style="list-style-type: none"> • 皆さんの持っている意見を知ることができてよかった • 公園の歴史等、市の公園の現状がよく理解できた • 子育て世代の参加者が少ない
4, あまり良くなかった	3	<ul style="list-style-type: none"> • 講演をもっと詳しく聞きたかった • 進行はもう少し丁寧な方がいい • ワークショップの時間がもっと必要 • ワークショップをすることが周知されていない • 自由に意見を言える雰囲気はよかった • 広報の内容がわかりにくかった
未回答	0	<ul style="list-style-type: none"> • 全体の時間が短かった • 勉強会なのか和泉多摩川緑地に関するフォーラムなのか目的がぼやけている • 公園だけではなく将来に目を向けて

問2：今回のフォーラムに限らず、狛江市で開催するまちづくりに関するフォーラムがあれば、参加したいと思いませんか（一つを選択）。

1, 参加したい	21
2, 参加したくない	4
未回答・無効	4

問3：今後、狛江市で開催してほしいまちづくりに関するフォーラム等があれば、お教えてください（自由記述）。

- 住みやすいまち、楽しめるまち
- 年代別の講座や各年代合同のミーティング
- 狛江全体のまちづくり（狛江の特性やうり）
- 環境保全
- 狛江の保存樹
- 交通安全問題
- 都市計画や地区計画等の紹介
- 育児中の忙しい母親が対象の集まり

問4：子どもが喜ぶ公園とは、どのようなものだと思いますか（自由記述）。

- 危険性の少ない自然体の公園、緑や花の多い公園
- 創造力を育てる場として広い砂場がある公園
- 親が居心地のよい公園
- 大人と子どもがともに楽しめる公園
- キャッチボールができる公園
- 自由に楽しく遊ぶことができる公園
- 安全に走り回れる公園
- 小さい公園の場合、遊具のない公園（広場等のオープンスペース）
- 遊具や木陰がある公園
- 歩行者ネットワークが形成された安心安全にアクセスできる公園
- 子どもたちが公園づくりの企画段階から参加できるように配慮すること
- テーマ別の公園や遊具があり遊びの範囲や楽しみが多い公園
- 子どもだけではなく大人の公園が地域別にあってもいい
- 広場でいいと思う
- 対象を幼児、児童、中高生に分けた、球技のできる公園
- 花、魚や鳥など実際の生態系を実感できるもの
- ベンチ、芝生のある公園
- 計画段階から子どもの意見を聞き、日常的管理につながるとよい
- 平日昼間でも利用される遊具等がある公園
- かわいい造形があり、ときめく公園
- 大勢で遊べる公園
- 大人から一時離れて子どもが集まる空間のある公園
- まちづくりに子どもの声を反映すること
- ポリシーがはっきりしている公園
- 見通しがよく、勾配のある景観を有した公園

